

国内事業「AWEP のもうひとつの活動、在住外国人の支援」

AWEP は、国内事業として地域に暮らす外国人女性の生活相談への対応も行っています。暮らしの中でのちょっとした相談から、時には DV（ドメスティックバイオレンス）やそれを原因とする離婚手続きなどの相談を受けることもあります。AWEP だけでは対応が難しい事案については、他の外国人支援団体に協力を求め、連携して支援活動を行います。AWEP が運営委員としても参画している NGO 神戸外国人救援ネットは、そのような団体のひとつです。

今年度、救援ネット主催の支援者向け連続セミナー（全 5 回）が開講されております。AWEP から国内事業担当の鋤柄が、当日運営のお手伝いをしつつこれまでの以下の 4 回の講座に参加してまいりました。

第 1 回 6 月 18 日「やさしい日本語」講座 講師：福井武司さん（神戸 YWCA）

第 2 回 9 月 10 日「技能実習生と家事労働者の受け入れを考える」

講師：早崎直美さん（RINK すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク）

第 3 回 10 月 15 日「外国人を取り巻く医療制度と CHARM の取り組み」

講師：青木理恵子さん、プラー・ポンキワラシンさん（NPO 法人 CHARM）

第 4 回 11 月 26 日「難民・移住者支援とシナピスの取り組み」

講師：ビスカルド篤子さん（カトリック大阪大司教区社会活動センターシナピス）

いずれの回も、それぞれの立場で長く支援活動に携わる講師の方々のお話から、在住外国人の置かれている厳しい現実と、それに対して地道に諦めずに活動を継続することの意義と難しさ、支援者としてあるべき姿勢、といった大切なことを学ぶことができました。



写真 第 4 回セミナーの様子

次回、第 5 回は来年 2 月 18 日に「外国人を取り巻く社会保障制度」（講師：髯本郁さん、NGO 神戸外国人救援ネット）をテーマに開催されます。支援者向けセミナーではありますが、支援者に限らず少しでも多くの方に聞いていただき在住外国人が置かれている現状を知っていただきたいと思います。興味のある方は、ぜひ AWEP までご一報ください。詳細をお知らせいたします。

AWEP は、外国人女性が安心して暮らせる社会実現のために、支援者としての学びを怠ることなく、今後もこのような団体との連携を通じて社会への働きかけを続けていきたいと思っています。

（鋤柄利佳）

●◎●私のお気に入り●◎● あがた 晶子

AWEP のポーチや小物は、私の毎日の生活に欠かせないものです。特にカード入れ、名刺入れは複数持っていて、種類によって使いわけています。1 番最初に買ったフィリピンの物は、名刺入れとして使っています。最近では、多くの店でポイントカードを発行していて、「お得」と言われるとすぐ作ってしまうのでカードの枚数がどんどん増えてしまいました。ピタパなど交通カードは小豆色のタイのバントーフアン、薬局のポイントカードは黄土色のバントーフアン、年をとると体のあちこちに支障が出てくるので病院の診察券はフィリピンの物、家電店やデパートのポイントカードはフィリピン製、といった感じです。

